

要 望 書

リニア中央新幹線の開業により、首都圏から中京圏に及ぶリニア大交流圏が形成されます。このリニア・インパクトを広域的に波及させ「中京大都市圏」が世界的に高い求心力と交流拠点性を持った圏域として発展していくためには、リニア中央新幹線の玄関口となる名古屋駅のスーパーターミナル化や世界の玄関口となる名古屋港や中部国際空港等の機能強化が必要であるとともに、交流・物流拠点と圏域内とを密接に結ぶ広域道路ネットワークの整備を進めることが極めて重要です。

その中でも、名岐道路は名古屋高速道路を經由し、中京圏の一角を成す岐阜市と名古屋市を結ぶとともに、名神高速道路と東海北陸自動車道とをつなぎ、高速道路ネットワークの強化に資する重要な道路です。

本道路の整備により、国内随一の航空宇宙産業の集積地と名古屋港とを名古屋環状2号線を経由して結ぶことで物流の効率化・円滑化による生産性の向上が図られ、日本経済のさらなる発展を促す大きな効果がもたらされます。さらに、当圏域の魅力的な観光資源へのアクセス性の向上により、中部北陸圏へのインバウンド観光の拡大を図る「昇龍道」プロジェクトを促進させる効果が期待されるとともに、激甚化する自然災害や南海トラフ地震への備えとして、国土強靱化に資する道路ネットワークの代替性・多重性の確保が図られます。

本県としても、名岐道路の整備効果を最大限発揮できるよう、インターチェンジへのアクセス強化につながる当地域の東西軸である国道155号バイパスを始めとする関連道路の整備に取り組んでまいります。

このような中、本県においては国と連携し、都市計画及び環境アセスメントの手続きを進めており、今年5月には環境影響評価調査専門部会を開催し、現在は、環境影響評価書の作成を進めるなど、手続きの終盤に差し掛かっているところであります。引き続き、国及び関係機関と連携し、都市計画及び環境アセスメントの手続きを着実に進め、本路線が速やかに事業化されるよう取り組んでまいります。

つきましては、以上の事情をご賢察賜り、次の項目について、特段のご配慮をお願い致します。

記

1. 高速道路ネットワークの機能向上、及び平常時・災害時を問わない安定的な輸送の確保と生産性向上のため、重要物流道路に位置付けられた名岐道路の都市計画・環境アセスメントを進めるための直轄調査を着実に推進し、優先整備区間（一宮中入口～一宮木曾川IC）において、名古屋高速道路公社が事業主体となることを前提とした上で、税負担も活用しつつ、来年度の事業化を図ること。
2. 沿線地域のストック効果の最大化を図るため、国道155号バイパスを始め関連する周辺道路の整備を着実に実施できるよう、重点支援により十分な予算措置を講じること。
3. 本道路を含めた災害に強い道路ネットワークを構築するため、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の最終年度となる令和7年度においても必要な予算・財源を確保すること。また、令和6年能登半島地震などを踏まえ、既設道路構造物の機能強化などを推進するため、国土強靱化実施中期計画を令和6年内の早期に策定し、当初予算を含め、速やかに必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保すること。
4. 山積する道路整備の課題に対応していくため、新たな財源の創設等により、令和7年度道路関係予算は、賃金水準などの上昇も加味した上で、所要額を満額確保すること。

2024年7月31日

愛知県知事

名古屋商工会議所会頭

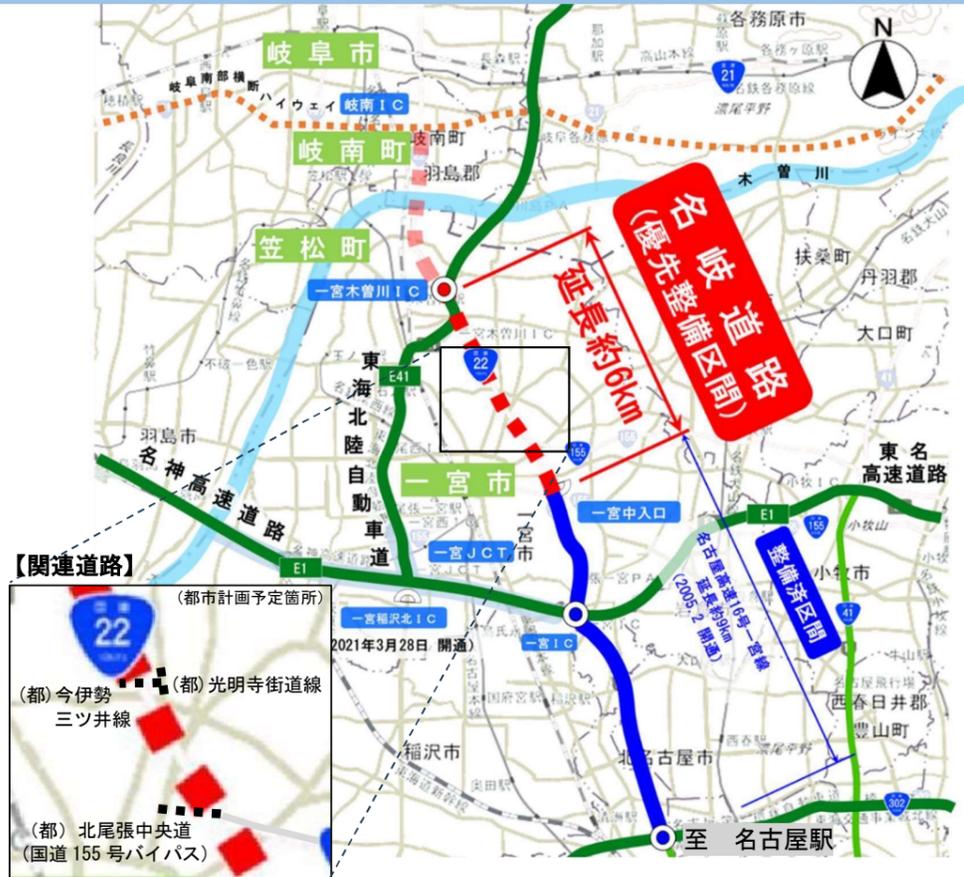
一般社団法人中部経済連合会会長

大村 秀章

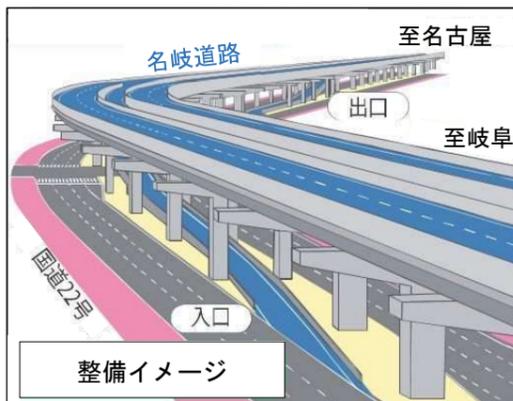
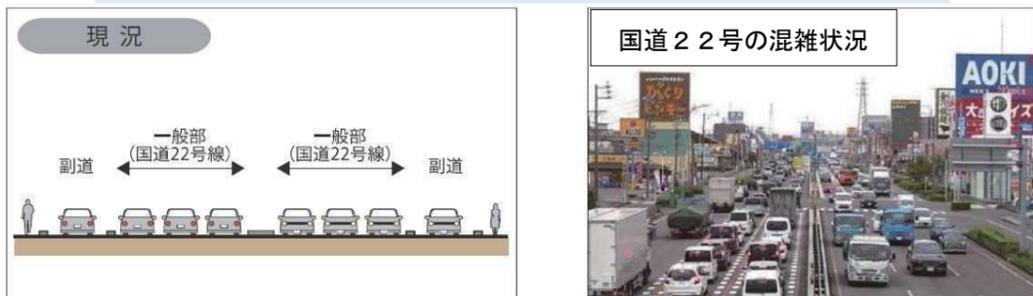
嶋尾 正

水野 明久

高規格道路名岐道路



名岐道路の主な構造



高規格道路 名岐道路の早期事業化に関する要望書



2024年7月

愛知 知 県
名古屋商工会議所
一般社団法人中部経済連合会